

開かれた学校づくりを目指して

No. 2

令和8年3月6日
愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校では、本年度の重点目標を「寛容さと愛情をもちながらも毅然とした指導を貫く中で、自尊の感情と自己有用感を育成する。」「生徒が主体的、協働的に取り組める授業を工夫し、自ら進んで学ぶ資質や主体性を育てる。」「生徒の進路選択にあわせて、それぞれにあった学力を身に付けさせ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。」「教職員間で協働して業務に当たることで、教職員の在校時間の適正化を図るとともに多忙化を改善する。」と定め、分野別に重点目標を設定し、その達成を目指して努力してきました。年度末にあたり、2学期末に実施しましたアンケート結果（教職員・生徒・保護者）と、中学校の先生方や学校評議員の方々の御意見を踏まえて、この1年間の取組の成果と反省をまとめました。

〈学習指導〉～個々の習熟度に応じた学習指導と規律ある学校を目指して～

○ マネジメントシート等を活用した学習指導方法の工夫と改善を図る。

各教科会において昨年度の学習マネジメントシートを本年度の授業計画に活用するとともに、来年度に向けての授業内容の振り返りと改善方法についての協議を行った。平日の家庭学習については、肯定率が下がっているため、家庭での学習習慣を身につけるための方策を考えていきたい。

〈進路指導〉～キャリア目標の実現を目指して～

○ 多様なキャリア目標の実現のために、早期からのキャリア意識の醸成と個別最適化された支援・指導に取り組む。

第3学年への進路別指導や面接や小論文などの個別指導、第1学年における豊橋創造大学での大学1日体験デー、第2学年におけるインターンシップや進路別基礎指導など、全学年においてキャリア教育の充実を図り、多様な進路に対する個別最適化された指導をより体系化させる取り組みを行った。これらのことが、例年以上にアンケートにおいて高い肯定率を得られた理由ではないかと考えられる。次年度はさらに、多様な進路に対するさまざまな取り組みを加速させるためにキャリア支援のDX化を推進し、教員はより個別最適化された支援を行い、生徒自身がそれぞれのキャリア実現に向けて自ら主体的に動くことができるようにしていきたい。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

- 「STOP600」をスローガンとして遅刻件数を目指す。
- 交通安全指導、いじめの早期発見などを通して命を守る。
- あいさつ溢れる、明るく活気のある学校を目指す。

数年前に比べて遅刻数は減ってはいるものの、一部の生徒の多遅刻により、遅刻数600未満は達成できなかった。余裕をもって登校することが交通事故を防ぐことにつながるため、学校全体で遅刻や交通安全の意識を高めていく必要がある。

* 「STOP600」とは、生徒の年間累計遅刻数を600未満にする目標です。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

- 生徒が学校行事に主体的に参加し自ら運営できるようにする。
- 家庭や地域に活動の様子を発信していく。

生徒会の生徒が中心となって学校行事を運営したり、ボランティアを行ったりすることで、生徒が主体的に行動する場面が増えた。特に、ボランティアに参加する生徒が年々増えてきているので、この状態を継続していきたい。また、もっと頻繁にホームページなどで生徒の様子を発信していきたい。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

○ 持続可能なPTA活動体制づくりを進める。

今年度は、ちきり祭でのバザーの充実や、制服リサイクルなどの活動を行った。次年度も保護者の方々と連携し、より多くの保護者が気軽に参加できるPTA活動体制づくりをしていきたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

○ 防災意識を向上させる。

予告なく避難訓練を実施するなど、より実践的な訓練を実施した。また、津波発生を想定した二段階避難や、停電時に放送設備が使えない場合の避難呼びかけなどを実施した。今後も事前の避難場所の把握や、プリントでの防災学習を含め、生徒が自ら適切に判断し主体的に行動できるよう避難訓練を実施していきたい。

〈学校保健〉～落ち着いて学ぶことのできる学習環境を目指して～

○ 多様な生徒の心身に配慮した適切な対応と環境美化の推進に努める。

生徒の表情など常時気に向け、担任や教科担任が支援の必要な生徒を早期に発見、養護教諭、相談係、担任等と連携して情報共有に努めている。一層連携を深められるように連絡を密にしていく。

生徒も清掃活動によく取り組めており、校内でごみが捨てられていることは、ほとんどなくなっている。今後も学習環境整備に努めていきたい。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

○ 図書館利用促進のための方策を模索する。

読書推進のため、「友人にすすめる一冊の本」というアンケートを行い、結果をクラスに掲示した。本年度は例年に比べて貸出数が増加しており、これらの方策の影響もあったと考えられる。引き続き、読書活動の充実を目指した方策を模索、実施していきたい。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

○ 現職研修や教育実習について各分掌と連携する。

○ ワークライフバランスを意識した環境整備に努める。

現職研修を通じて教職員に必要な資質・能力の向上を図った。今年度はICT活用や進路指導、AED講習についての研修を行った。また、長期休業中や考査期間を利用し、教職員が比較的参加しやすい時期に開催した。今後は実施時期や内容を精査し、教職員のさらなる資質の向上に努めていく。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 安全なICT活用ならびに、活用推進を図る。

ClassiやTeamsなどの情報サービスを利用した授業が増え、生徒のタブレット端末を利用する機会も増えた。これに伴い、タブレット端末の破損・故障件数も増加している。引き続きタブレット端末の活用を進めていくとともに、大切に扱うことについても啓蒙していきたい。また、教員に向けても活用促進のための研修等を企画し、ICT機器の利活用を進めていきたい。

〈総合学科推進〉～地域と連携した教育活動を目指して～

○ 地域と連携した有意義な教育活動を推進する。

○ 効果的な広報活動を行う。

今年度も外部講師の招聘やHP・インスタグラムの更新を随時行い、外部との連携を図った。インスタグラムは年間150回のペースで投稿しており、フォロワー数は1000人を超えた。今後もさらなる情報発信を図り、豊橋西高校の魅力を伝えていきたい。

豊橋西高校のホームページを御覧ください。

(<https://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp/cms/>)

学校行事や生徒の活動の様子などを紹介しています。